

# 日進市立小中学校 部活動地域移行検討委員会

令和6年度第3回会議 説明資料

令和7年3月10日  
日進市学習政策課

# 目次

はじめに（これまでの振り返り）	1
1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について	2
2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について	6
3 実証事業に関するアンケートについて	8
4 中学校部活動の今後の方針（案）について	20
5 今後のスケジュールについて	21

# はじめに（これまでの振り返り）

## 令和5年度の検討結果【※小学校部活動について検討】

---

- ・令和7年度末をもって廃止する。
- ・球技大会等の全市的な行事の開催は令和6年度までとする。
- ・令和7年度は移行期間とし、部活動の実施は各小学校の裁量とする。

## 令和6年度第1回検討委員会（令和6年7月24日開催）【※中学校部活動について検討開始】

---

- ・令和6年度の実証事業や中学生向けアンケートの結果から、中学校部活動の在り方に関する方針を検討する。
- ・教職員の負担が増えない形での地域移行の手法の検討を進めるとともに、指導を希望する教職員は、報酬を得て指導が継続できるよう、兼職兼業について検討する。

## 令和6年度第2回検討委員会（令和6年12月24日開催）

---

- ・実証事業の結果を受け、休日の部活動の縮減と地域クラブ活動の実施は同時に進めていく必要がある。
- ・教職員の兼職兼業については、近隣自治体の待遇の格差や、指導を希望する教職員を守る観点からも、慎重に検討する必要がある。

# 1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

## 国 【運動部活動】スポーツ庁、【文化部活動】文化庁

### 1 地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議

- 第1回 (令和6年8月23日)
- 第2回 (令和6年12月10日) ⇒中間とりまとめ (令和6年12月18日)
- 第3回 (令和7年春ごろ) ⇒**最終とりまとめ**

### 2 (分科会) 地域スポーツクラブ活動ワーキンググループ (スポーツ庁)

- 第1回 (令和6年8月29日)
- 第2回 (令和6年9月18日)
- 第3回 (令和6年10月23日) ⇒中間とりまとめ骨子案が出される。
- 第4回 (令和7年2月10日)

### 3 (分科会) 地域文化芸術活動ワーキンググループ (文化庁)

- 第1回 (令和6年9月3日)
- 第2回 (令和6年9月26日)
- 第3回 (令和6年10月24日) ⇒中間とりまとめ骨子案が出される。
- 第4回 (令和6年11月上旬から中旬)
- 第5回 (令和7年2月20日)

# 1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

## 国：中間とりまとめの概要

- 改革の理念として、**「子供たちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保」**が主目的と明記。
- 「生徒のための改革」とうたった、「改革の理念」をはじめ、「地方公共団体に伝えるべきこと」「地域クラブ活動の在り方」「学習指導要領による取扱い」などの7項目で構成。
- 「地域移行」の名称は、「ただ地域に移すだけというイメージで誤解を招きやすい」ため、**「地域移行」から「地域展開」への名称の変更**を提案。
- 地域移行の具体的手法を考えるにあたり、**「教員の負担軽減が図られること」**についても考慮。
- 令和5年度から令和7年度までを部活動の「改革推進期間」としているが、**令和8年度からの6年間（令和13年度まで）を「改革実行期間」と位置づけ**、平日の活動についても地域への移行、連携を推進。
- 学習指導要領での部活動規定について、「教育的意義を有する活動」であり「地域クラブと学校との連携が重要」とした上で、来春予定の最終とりまとめまでに議論を深める。  
⇒ **「学校教育の一環」ではなく「社会教育であることを明確にすべき」**との意見があった。

# 1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

**愛知県** 【運動部活動】保健体育課、【文化部活動】あいちの学び推進課

---

## 1 愛知県部活動の地域移行・地域連携協議会

- 令和6年5月9日（木）
- 令和6年10月7日（月） ⇒ 部活動の地域移行・地域連携マッピング（資料3）
- 令和7年1月30日（木）

## 2 運動部活動地域移行推進事業意見交換会（オンライン）（保健体育課）

- 令和6年8月21日（水）
- 令和6年12月25日（水）

## 3 文化部活動地域移行推進（実証）事業意見交換会（オンライン）（あいちの学び推進課）

- 令和6年9月20日（金）

# 1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

## 近隣自治体（※中学校部活動の検討状況）

	実績		予定	
	R5	R6	R7	R8
瀬戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者による検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員の一部導入</li> <li>アンケート実施（児童生徒）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動時間の市内統一</li> <li>検討委員会の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討中</li> </ul>
尾張旭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討委員会の設置</li> <li>部活動指導員の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の方針・方向性を検討</li> <li>民間事業者による実証実験を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体制・制度を検討</li> <li>民間事業者による実証実験を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日部活動の地域連携開始（R8.4～）</li> </ul>
長久手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討委員会の設置（R4）</li> <li>アンケート実施（児童生徒・保護者・教職員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・保護者説明会実施</li> <li>民間事業者による休日地域クラブの実施（業務委託）（R6.9～）</li> <li>アンケート実施（児童生徒・保護者・教職員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日の地域移行の課題を検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日部活動の地域移行に関する検討</li> </ul>
豊明市	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討委員会の設置</li> <li>アンケート実施（生徒・教職員）</li> <li>モデル事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営団体の募集</li> <li>モデル事業の拡大（課題の整理・改善）</li> <li>大会出場に向けて調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営団体の募集</li> <li>モデル事業の課題の整理・改善</li> <li>大会出場に向けて調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者による休日地域クラブの実施（業務委託）（R8.9～）</li> </ul>
東郷町	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者による検討</li> <li>アンケート実施（生徒・保護者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討委員会の設置</li> <li>今後の方針・方向性を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体制・制度を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者による休日地域クラブの実施（業務委託）（R8.9～）</li> </ul>

## 2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について

### (1) 部活動の地域移行に係る市内スポーツ団体の活動の周知

- ・スポーツ協会、文化協会、学校開放事業登録団体へ子ども向け活動の周知を依頼した。
- ・9団体の活動について、市ホームページで周知している。（令和7年3月1日時点）

### (2) 小学校放課後活動及び中学校地域クラブ活動実証事業業務委託

- ・北小学校及び日進東中学校において実証事業を実施した。
- ・児童生徒及び保護者を対象にアンケートを実施した。

	北小学校	日進東中学校
対象	北小学校の1年生から6年生の児童	日進東中学校の1年生及び2年生の生徒
期間	9月から11月までの月、木	9月から12月までの土、日、月（祝日）
種目	8種目 (eスポーツ、ダンス体験、プログラミング、サッカー、バドミントン、日本の遊び体験、バレーボール、図画工作)	7種目 (eスポーツ、茶華道、プログラミング、サッカー、バドミントン、卓球、吹奏楽)
参加費	100円～300円（種目に応じて）	100円～300円（種目に応じて）
活動回数	21回	36回
延べ参加者数	372人（実参加者：129人）	263人（実参加者：63人）

## 2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について

### (3) 中学生向け部活動に関するアンケート

・日進市内の中学校の生徒（1～2年生）及びその保護者を対象にアンケートを実施。

- 休日に部活動をしていない生徒も、部活動以外でなんらかの活動を行っている割合が高い。
- 「部活動」か「地域クラブ」かの違いよりも「活動回数の維持」が重要だと考えられる。
- 保護者の方から指導者として協力できるとの回答が約1割あった。また、既に部活動を補完する活動が実施されており、地域移行を担う団体となる可能性がある。

### (4) 日進市立中学校長部活動会議

・市内4中学校の校長と、中学校部活動の方針や教職員の兼職兼業などについて検討を行った。

### (5) 日進市立小中学校部活動地域移行プロジェクトチーム

・部活動の地域移行について、関係部局が連携を図り、総合的、横断的に推進するため、関係課による日進市立小中学校部活動地域移行プロジェクトチームを設置し、検討をしている。（構成課：学習政策課、学び支援課、学校教育課、子育て支援課）

### (6) 学校施設の有効活用について

・市内小中学校の体育館や武道場以外の「有効活用可能な空間」を児童生徒の参加できる地域団体等に開放し、児童生徒が活動できる場としての活用を検討する。現地確認及びヒアリングを実施した上で、活用を希望する団体を募集する。

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (1) 小学校放課後活動実証事業に関するアンケート調査の概要

- 1 **回答期間** 令和6年12月13日（金）から12月20日（金）まで
- 2 **対 象** 北小学校の児童及びその保護者（児童1人につき1アンケート）
- 3 **回答率**

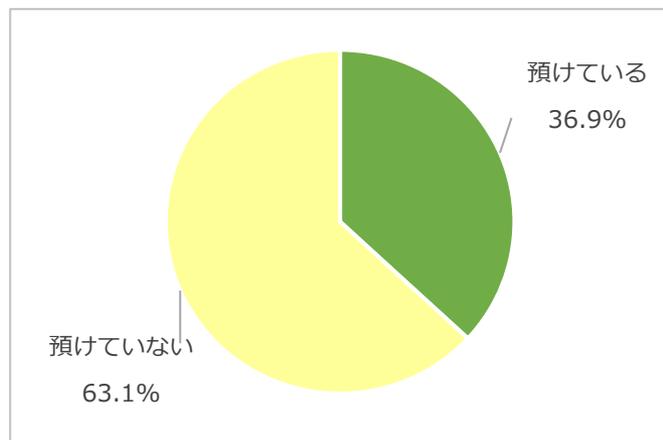
	児童数 (※)	回答数	回答率	参加者 (実人数)	参加率
1年生	88人	14件	15.9%	22人	25.0%
2年生	107人	20件	18.7%	31人	29.0%
3年生	90人	19件	21.1%	25人	27.8%
4年生	94人	22件	23.4%	19人	20.2%
5年生	85人	15件	17.6%	16人	18.8%
6年生	121人	13件	10.7%	16人	13.2%
合計	585人	103件	17.6%	129人	22.1%

※児童数は令和7年1月1日現在の数字

### 3 実証事業に関するアンケートについて

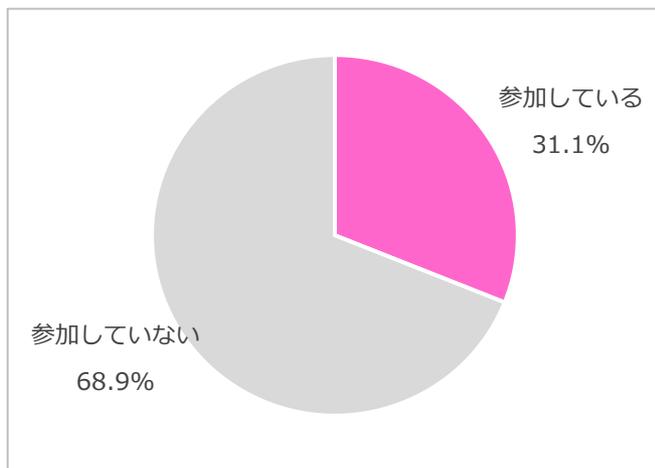
#### (1) 小学校放課後活動実証事業に関するアンケート調査の概要

Q：お子様を放課後児童クラブ、放課後子ども教室や民間児童クラブ等に預けていますか。



「預けている」と回答した割合について、学年別にみると、1～3年生の低学年は50.9%に対し、4～6年生の高学年は22.0%となっています。

Q：お子様は部活動に参加していますか。

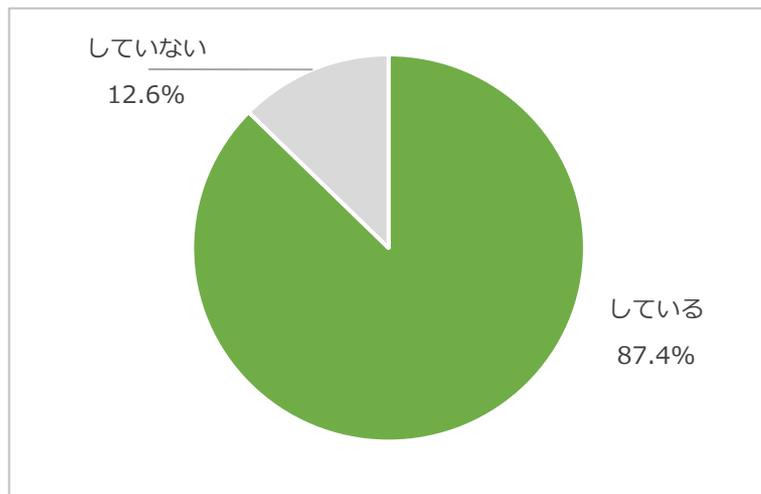


部活動は4年生以上で実施しているため、4年生以上の学年別にみると、「参加している」と回答した割合について、4年生81.8%、5年生66.7%、6年生30.8%となっています。6年生については、部活動を引退している児童が多いことが考えられます。

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (1) 小学校放課後活動実証事業に関するアンケート調査の概要

Q：お子様は部活動以外の習い事をしてしていますか。



87.4%の児童が習い事をしてしています。部活動参加対象の4年生以上で、部活動に参加している児童で部活動以外の習い事に参加している率は81.3%、部活動に参加していない児童で部活動以外の習い事に参加している率は83.3%となっており、部活動の参加の有無に関わらず、部活動以外の何らかの活動を行っている割合が高いことがわかります。

また、習い事の種目は、「スポーツ系」、「文化芸術系」、「学習系」など多岐にわたっています。

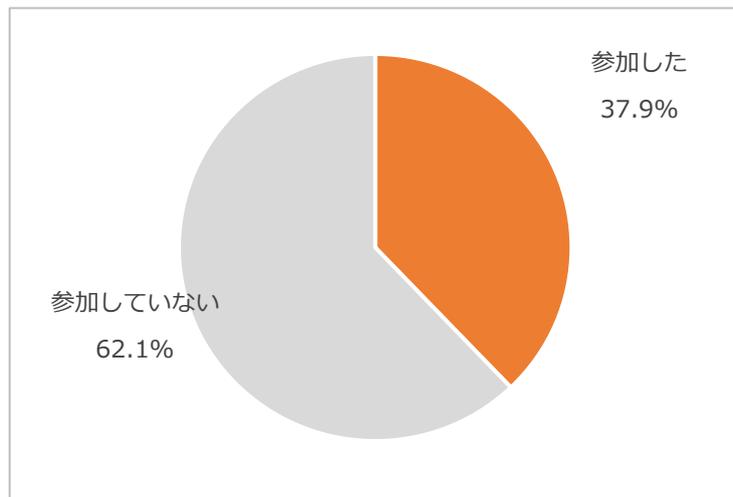
Q：習い事の種目を教えてください。

【スポーツ系】	ダンス、サッカー、バスケットボール、スイミング、テニス、体操、空手、野球、陸上	65件
【文化芸術系】	エレクトーン、ピアノ、習字、音楽、美術	23件
【学習系】	学習塾、英語、家庭教師、そろばん、プログラミング、算数、国語、通信教育	30件

### 3 実証事業に関するアンケートについて

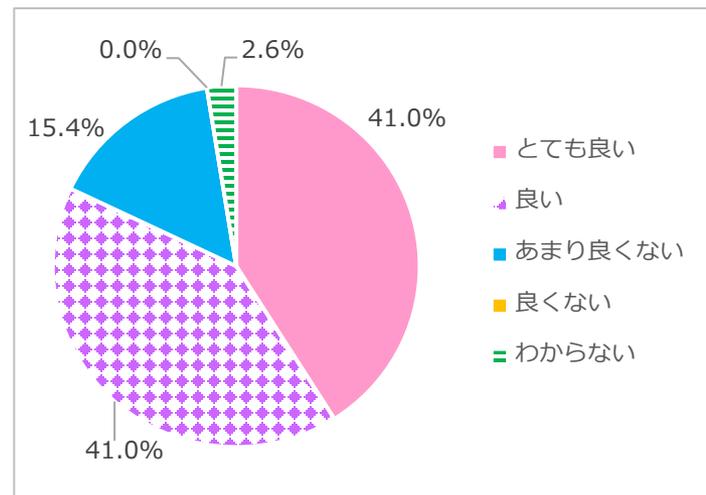
#### (1) 小学校放課後活動実証事業に関するアンケート調査の概要

Q：今回の実証事業に参加しましたか。



37.9%の児童が実証事業に参加したと回答していますが、実人数では22.1%の参加率でした。学年別にみると、参加したと回答した割合は1年生35.7%、2年生55.0%、3年生36.8%、4年生22.7%、5年生40.0%、6年生38.5%となっています。

Q【「参加した」方のみ】今回の実証事業についてどう思いましたか。



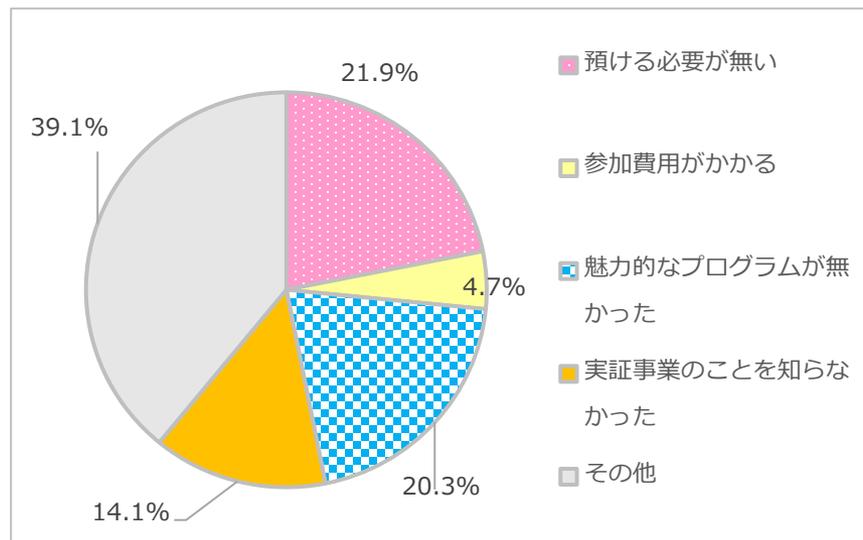
「とても良い」「良い」を合わせると、82.0%が「良い」と回答しています。

回答した理由として、新たな体験活動に対する充実感とともに、学校という場所で実施できることによる保護者の負担軽減に関する意見が多くありました。

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (1) 小学校放課後活動実証事業に関するアンケート調査の概要

Q：【「参加していない」方のみ】何故、実証事業に参加しなかったのか教えてください。



参加しない理由として「預ける必要がない」、「魅力的なプログラムが無かった」と回答している方が多いです。また、回答項目ごとにみると「実証事業のことを知らなかった」と回答があったのは1～4年生までであり、5・6年生の高学年では0%でした。「魅力的なプログラムが無かった」と回答したのは、3～6年生のみであり、1・2年生では0%でした。

その他の理由として、「開催日程、運営形態などの事業体制に関すること」や、送迎など「保護者負担の増加」が挙げられています。

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (1) 小学校放課後活動実証事業に関するアンケート調査の概要

##### ■ 子どもたちの習い事について

- ・全体で87.4%の児童が、何かしらの習い事をしている。多くの児童が既に様々なスポーツ、文化、学習活動の指導を個別に受けていることが分かる。

##### ■ 実証事業について

- ・実証事業の参加者は37.9%であり、ある程度のニーズがあると考えられる。平日の放課後に実施したため、児童の預かり機能としてニーズがあると考えられる。
- ・「参加した」方の82.0%が「とても良い」「良い」と答えており、新たな体験活動に対する充実感や、学校での実施による保護者への負担軽減など、一定のニーズがあると考えられる。一方で、「良くない」「あまり良くない」と答えた理由として、指導の質や子どもたちへの対応など指導者の資質を問う意見があった。
- ・「参加していない」と答えた方は、参加しない理由として「預ける必要がない」、「魅力的なプログラムが無かった」と回答している方が多い。また、送迎については、保護者の負担となるとの意見もあった。

##### ■ その他

- ・アンケートの結果からは、放課後活動実証事業に対しては、概ね好意的な意見が多いことが伺えるが、改善要望も見受けられる。特に、送迎や参加費の支払い方法に関する部分での要望が多い。送迎については、子どもだけでの下校や送迎が可能となる時間までの活動など、特に共働き家庭への配慮が求められているが、分団下校ができる人数でもないため、小学校で活動する場合は子どもへの安全配慮から保護者の送迎が必要となる。迎えに来れない場合は、放課後子ども教室へ預けるなど、預かり施設との連携を検討する必要がある。
- ・学校施設を利用した活動だが、学校とは切り離された活動であるということを保護者にも理解していただく必要がある。

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (2) 中学校地域クラブ活動実証事業

- 1 回答期間 令和7年1月24日（金）から1月31日（金）まで
- 2 対象 日進東中学校の1・2年生の生徒及びその保護者  
(生徒1人につき1アンケート)
- 3 回答率

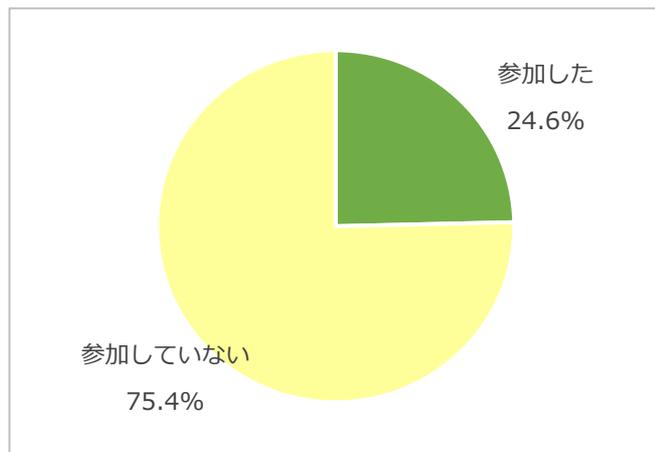
	生徒数 (※)	回答数	回答率	参加者 (実人数)	参加率
1年生	279人	46件	16.5%	36人	13.0%
2年生	207人	23件	11.1%	27人	13.0%
合計	486人	69件	14.2%	63人	13.0%

※生徒数は令和7年1月1日現在の数字

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (2) 中学校地域クラブ活動実証事業

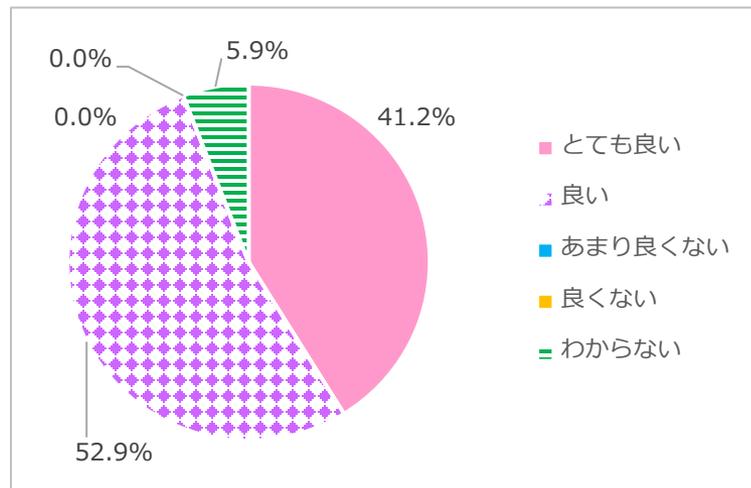
Q：今回の実証事業に参加しましたか。



24.6%の生徒が実証事業に参加したと回答していますが、実人数では13.0%の参加率でした。

学年別にみると、参加したと回答した割合は1年生21.7%、2年生30.4%となっています。

Q【「参加した」方のみ】今回の実証事業についてどう思いましたか。

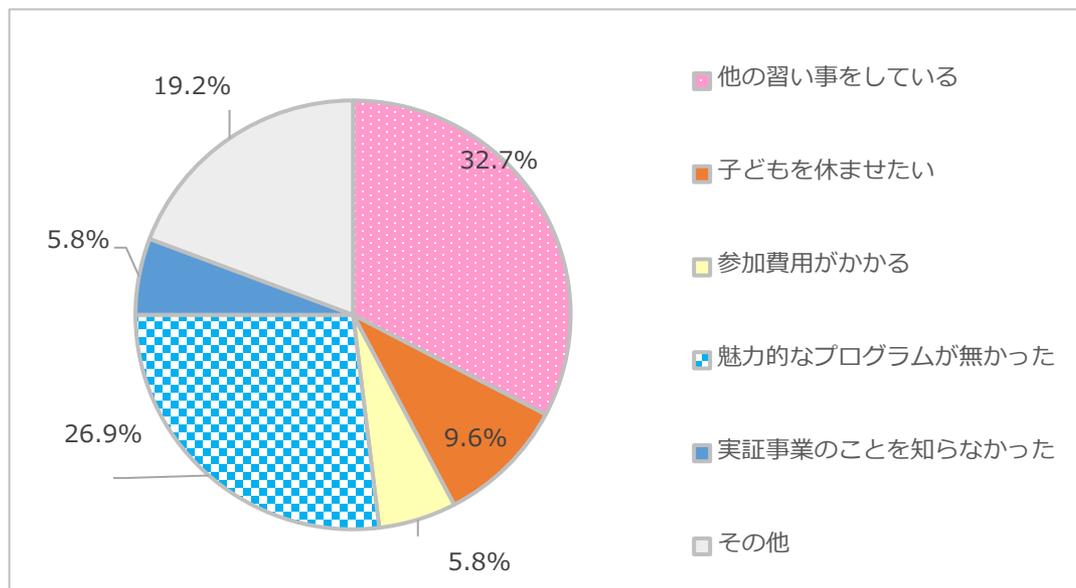


「とても良い」「良い」を合わせると、参加した人の94.1%が「良い」と回答しています。回答した理由として、専門的な指導に対する充実感とともに、多くの大人と関わることで得られる経験に関する意見もみられました。活動を通じて、社会性の向上など、技術力以外の部分でも子どもの成長が望まれています。

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (2) 中学校地域クラブ活動実証事業

Q：【「参加していない」方のみ】何故、実証事業に参加しなかったのか教えてください。



参加しない理由として「他の習い事をしている」、「魅力的なプログラムが無かった」と回答している方が多いです。

回答項目ごとにみると、「子どもを休ませたい」「実証事業のことを知らなかった」と回答があったのは1年生のみでした。

2年生では「他の習い事をしている」との回答が一番多く、1年生では「他の習い事をしている」と「魅力的なプログラムが無かった」が同率で一位でした。

### 3 実証事業に関するアンケートについて

#### (2) 中学校地域クラブ活動実証事業

##### ■ 実証事業について

- ・実証事業の参加者は24.6%であり、参加する生徒は少なかった。土日に開催したことも理由の一つだと考えられるが、部活動の活動が盛んに行われていることも理由の一つだと考えられる。
- ・「参加した」方の94.1%が「とても良い」「良い」と答えており、地域クラブ活動における専門的な指導に対する充実感や、体験機会の充実など、一定のニーズがあると考えられる。
- ・「参加していない」と答えた方は、参加しない理由として「他の習い事をしている」、「魅力的なプログラムが無かった」と回答している方が多い。

##### ■ その他

- ・アンケートの結果からは、専門的指導に対する好意的な意見がある一方で、活動内容の充実を求める声や、部活動とのスケジュール調整などの課題も挙がりました。また、地域クラブと部活動の連携を求める声、部活動継続の希望や地域移行に対する不安も多く寄せられているため、保護者に対し部活動に代わる活動機会を学校活動と切り分けて確保することを丁寧に説明するとともに、部活動地域移行を慎重に進めていく必要があります。

## 【参考】部活動地域移行を民間事業者へ委託した場合に係る経費について

(令和6年度) 小学校放課後活動及び中学校地域クラブ活動実証事業業務委託

	実績
事業費	3,931,510円
開催回数	小学校 21回
	中学校 36回

### 【金額内訳】

		金額	開催回数	平均単価	参加者	平均参加者	領収金額	平均領収金額
小学校	運動系	352,400	9	39,156	162	18.0	20,400	2,267
	文化系	811,500	12	67,625	210	17.5	54,300	4,525
	小学校計	1,163,900	21	55,424	372	17.7	74,700	3,557
中学校	運動系	826,200	18	45,900	164	9.1	16600	922
	文化系	1,584,000	18	88,000	99	5.5	22500	1,250
	中学校計	2,410,200	36	66,950	263	7.3	39100	1,086
合計(税抜)		3,574,100			635		113,800	
合計(税込)		3,931,510						

## 【参考】部活動地域移行を民間事業者へ委託した場合に係る経費について

部活動を令和6年度の平均単価で年間を通じて民間事業者へ業務委託した場合の試算

	小学校	中学校
実施頻度	週2回	週1回
種目	3（運動系2、文化系1）	14（運動系10、文化系4）
学校数	9校	4校
概算事業費	45,531,720	168,688,000
概算受益者負担金	12,960,000	53,760,000

実際にはスケールメリットや管理費用の削減、開催回数の減少、無料システムの使用などにより、安価になると想定されますが、民間事業者への委託の場合、一定の受益者負担金をいただいたとしても、多額の事業費が必要となります。事業の持続可能性を高め、子どもたちに安定して指導を継続できる環境を整えるため、地域のリソースを活かす形での「部活動の地域移行」の体制を検討していく必要があります。

## 4 中学校部活動の今後の方針（案）について

### 教職員の負担軽減

- ・教職員の業務は非常に多くなっており、国の中間とりまとめからも教職員の負担軽減を進めることは不可欠な状況となっている。
- ・部活動の顧問として土、日に出勤している回数を減らすことは、教職員の負担軽減に繋がる。

### 教職員の兼職兼業

- ・教職員の中には、積極的に部活動の指導をしたい方もみえる。
- ・月45時間以上月80時間まで、教職員の「兼職兼業」を認めている自治体もあるが、教職員の負担軽減とは相反する考え方である。

### 部活動を補完する地域移行

- ・中学校での実証事業では、「部活動を補完する活動」の参加者が多かった。
- ・アンケートでは「部活動でなくても活動回数は維持したい」という傾向がみられた。
- ・休日部活動の回数を縮減するのであれば、「部活動を補完する活動」が実施できるよう検討を進める。

休日部活動の上限を月4回程度から月2回へ縮減することが望ましい。

部活動地域移行に係る教職員の「兼職兼業」は、近隣自治体との待遇の格差や、指導を希望する教職員を守る観点からも、慎重に進めていく。

事業の持続可能性を高めるため、地域のリソースを活かす形で「部活動を補完する活動」の体制を検討する。

### 休日部活動の縮減時期の事務局案

- ・「部活動を補完する活動」の体制の検討や生徒・保護者への周知を十分に行うため、休日部活動を月2回に縮減する時期は「令和9年4月から」とし、令和8年9月から移行期間とする。また、「部活動を補完する活動」の体制整備が整った種目から徐々に部活動回数を縮減し、最終的に休日部活動は無くしていく方針としたい。
- ・部活動は存続することとし、大会等への出場は顧問の引率で行う。部活動の廃止時期については、全国の部活動地域移行の進捗状況を踏まえて、改めて検討したい。

## 5 今後のスケジュールについて

	実績		予定	
	R5	R6	R7	R8
日進市	<ul style="list-style-type: none"> <li>日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会を設置</li> <li>実証事業の実施（市民会館）</li> <li>教職員アンケートの実施</li> <li>児童・保護者向けアンケートの実施</li> <li>小学校部活動の方針決定</li> <li>教育委員会へ中間報告</li> <li>市民への周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会の開催</li> <li>実証事業の実施（北小学校、日進東中学校）</li> <li>生徒・保護者向けアンケートの実施</li> <li>部活動の地域移行に係る市内スポーツ団体の活動の周知開始</li> <li>日進市立中学校長部活動会議の開催</li> <li>日進市立小中学校部活動地域移行プロジェクトチームの設置</li> <li>学校施設の有効活用について調査、現地確認</li> <li>中学校部活動の方針決定</li> <li>教育委員会へ報告</li> <li>市民への周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★必要に応じて、日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会の開催</li> <li>小学校部活動の移行期間</li> <li>実証事業の実施（中学校）</li> <li>子どもたちの活動の場としての学校施設利用希望団体の募集</li> <li>部活動顧問と今後の活動についての調整及び兼職兼業意向調査</li> <li>地域クラブ指導者の募集（保護者、既存活動団体、部活動指導員など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★必要に応じて、日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会の開催</li> <li>小学校部活動の廃止 ⇒<u>小学校における放課後活動の実施</u></li> <li>【9月から】中学校部活動の休日活動回数の縮減（※移行開始） ⇒<u>地域クラブへの移行体制が整った部活動から地域クラブへ移行</u></li> </ul> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※<u>地域クラブへの移行体制が整った部活動は令和8年9月を待たずに地域クラブへ移行することも可能</u></p> </div>